ケーブルテレビ事業の運営方法について

ケーブルテレビ事業について、南丹市の今後の運営方法について、以下の組合せの とおりまとめました。

.<a>⊙ : 良い又は良くなる ○ : 現状維持 × : 悪い又は悪くなる

	市		市民		その他	
	事務量	財政負担	費用負担	受けられる サービス	2次利用	今後の 発展性
①直営(業務委託含む)	0	×	0	0	0	×
②直営(料金値上げ)	0	0	×	0	0	0
③民間(自主放送直営)	0	0	0	0	×	0
④民間(行政運営終了)	0	0	0	0	×	0

①引き続き直営(業務委託含む)とする場合

【イメージ図】



直営(業務委託含む)で運営

メリット	デメリット
 ・テレビ、インターネットの利用料金は変わらない。 ・テレビ、インターネットの提供している内容は変わらない。 ・市の展開する行政サービスに柔軟に対応可能で、公共性が高い情報を提供できる。 	・市の事務量は変わらない。 ・業務委託料、老朽化の設備維持更新に係る費用について、継続して市の負担が必要。 ・年々進化する技術や環境の変化、サービスの拡充に、柔軟に対応するのが難しい。
・自主放送の内容・品質が維持できる。	

②引き続き直営(利用料金値上げ)とする場合

【イメージ図】

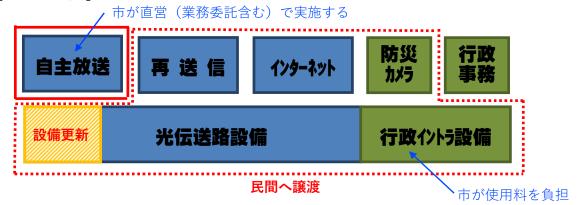


直営(業務委託含む)で運営

メリット	デメリット
・テレビ、インターネットの提供している内容	・市の事務量は変わらない。
は変わらない。	・テレビ、インターネットの利用料金が値上げ
・市の展開する行政サービスに柔軟に対応可能	されることで、利用者の費用負担が大きくな
で、公共性が高い情報を提供できる。	ప 。
・自主放送の内容・品質は維持できる。	・利用者離れなど、加入者の減少が見込まれる。
・収入が増えることにより事業運営に係る市の	
費用負担が少なくなる。	

③設備の維持・管理及び更新とあわせ、テレビ放送の再送信、インターネットサービスを民間に譲渡する。ただし、自主放送業務については南丹市が直営で運営する。

【イメージ図】



【条件又は懸案事項】

- ※1 利用料金等はすべて事業者の収入とし、民間の業務としてサービスの継続と設備の維持・ 更新を行う。また、運営が赤字に陥った場合でも市から補填を行わない。
- ※3 譲渡(清算)する設備について、民間事業者との協議が必要。 (互いに使用することになる機器などについては管理区分等を整理)
- ※2 今までに設備更新等のために南丹市が借入れた費用について、その負担について民間事業者と協議が必要。
- ※4 行政サービスを行う上で必要なネットワーク設備の使用料については、南丹市が毎年使用料として負担する。

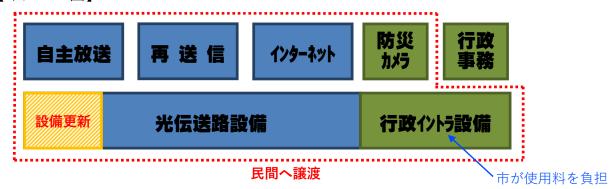
メリット デメリット

- ・市が行う事務量は少なくなる。
- ・通信事業に係る費用負担は民間事業者が行 う。
- ・民間事業者から受けている提案によると、 テレビ、インターネットの利用料金は変わ らない。
- ・民間事業者から受けている提案によると、 テレビ、インターネットで提供している基 本的な内容は維持しながら、利用者は新た なプランやサービスを選択し利用できる。
- ・年々進化する技術や環境の変化に対応していける。

- ・収入が無い中で、市が自主放送設備に係る 整備費用や番組制作に関わる人件費を負担 する必要がある。
- ・行政サービスで利用のためには、新たに設備や施設を確保・整備するか、民間事業者から借用する必要がある。

④民間移譲を行い、行政としては管理運営を終了する。

【イメージ図】



【条件又は懸案事項】

- ※1 利用料金等はすべて事業者の収入とし、民間の業務としてサービスの継続と設備の維持・ 更新を行う。また、運営が赤字に陥った場合でも市は補填を行わない。
- ※3 譲渡(清算)する設備について、民間事業者との協議が必要。 (互いに使用することになる機器などについては管理区分等を整理)
- ※2 今までに設備更新等のために南丹市が借入れた費用について、その負担について民間事業者と協議が必要。
- ※4 行政サービスを行う上で必要なネットワーク設備の使用料については、南丹市が毎年使用料として負担する。

メリット	デメリット
・市の事務は無くなる。	・行政サービスで利用のためには、新たに設備
・設備の維持更新に係る負担は民間事業者が	や施設を確保・整備するか、民間事業者から
行うため、市の費用負担は無くなる。	借用する必要がある。
・民間事業者から受けている提案によると、テ	・民間事業者から受けている提案によると、
レビ、インターネットの利用料金は変わらな	自主放送の内容・品質は維持できなくなる。
٧١°	
・民間事業者から受けている提案によると、テ	
レビ、インターネットで提供している基本的	
な内容は維持しながら、利用者は新たなプラ	
ンやサービスを選択し利用できる。	
・年々進化する技術や環境の変化に対応してい	
ける。	